

30 ヒトフデガキ

コーナー ■ みてなっとく



■ 展示物

一筆書きできる図形の性質を調べる展示物。

■ 装置・演出

いくつかの図形について、一筆書きできるかを実際に描いてみて考えるための装置。グラフィックスで10種類の図形を出題した。体験者は、幼児用の磁石を利用する絵を描く道具で、一筆書きできるかを何度も試してみることができる。

展示の導入として、グラフィックスに2つの図形を示し、一筆書きできるのはどちらかを出題した。体験者は、それらの図形が一筆書きできるかを確認する。絵を描く道具は3台用意し、それぞれの手元には、別の問題が描かれたサインを置いた。問題の用紙をめくると、解答を見ることができる。問題には、簡単な図形から複雑なものまであり、一筆書きできないものは、その理由も並記した。解説グラフィックスパネルには、解答以外にヒトフデガキできるための条件も解説した。

■ 設計・製作

市販品の幼児用の道具を、カラーコンパネに取り付けた。取り付けにはアルミのL字金折を使い、道具の高さと金折の高さを合わせるために、3tの発泡塩ビパネルを道具の下に敷いている。

出題用のサインは透明アクリルを曲げて成型し、ラミネートした用紙を化粧ビスで固定した。

■ 運用・問題点

たとえ一筆書きできる図形でも、適切な場所から描きはじめなければ描くことができない。グラフィックスで解説されていたとしても、複雑な図形では、体験者自ら描き方を発見するのは難しかったようだ。

道具の磁石シートの消耗が激しいことは予想され

たが、素早く消せて、簡単に描けて、よごれず、消耗品が充実していることから、幼児用の道具を選んだ。

ひとふでがきできない^え絵はどれ？
できる^え絵はチャレンジしてみよう。

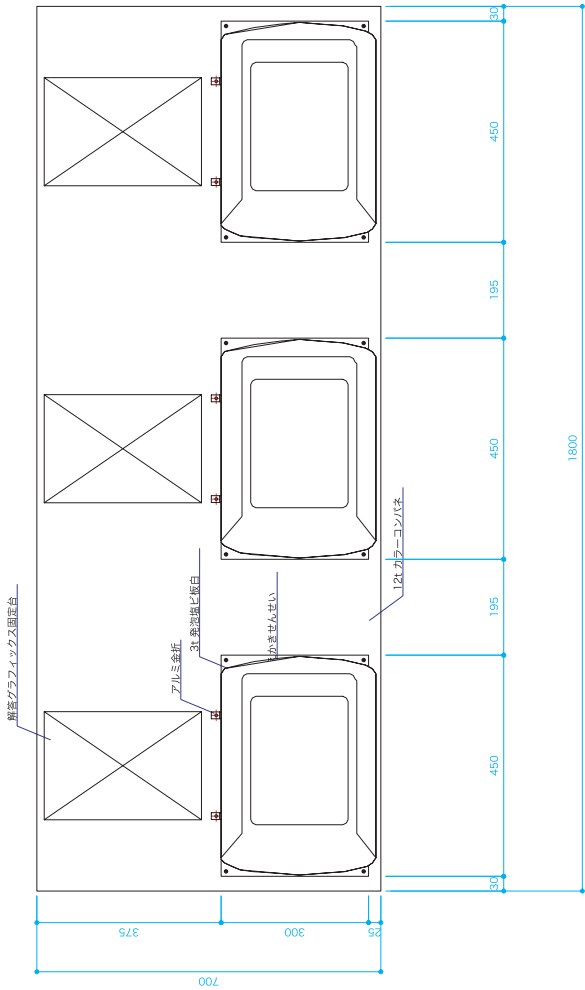
▼ こたえはこのウラ! ▼

こたえ

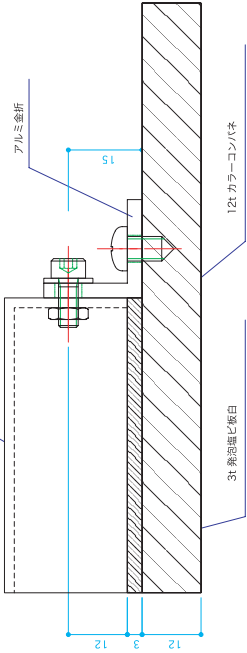
○ ^{きすうほん}は奇数本の線が出ている点 ^{せん} ^{てん}

図30-1 ヒトフデガキ 出題と解答のグラフィックス

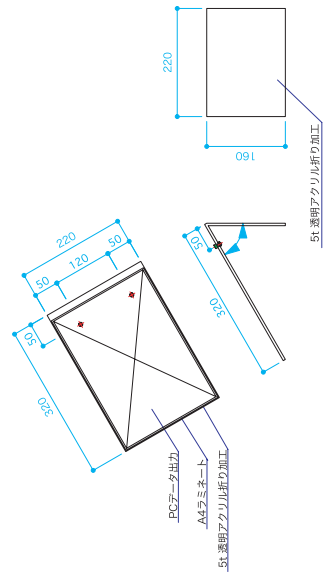
ヒトアデガキ 連結 S=1/1




ヒトアデガキ 本体 S=1/10



ヒトアデガキ 解答台 S=1/10



 Dept. of Science & Technology Ehime Pref. Science Museum	TITLE	SUBJECT	SCALE	SIZE	DATE	DESIGN	CHECK	NO.
	特別展「さわって！あそんで！おもしろ科学ワールド」 館内制作物	ヒトアデガキ 本体/連結/解答台	1/10	A3	2005.5.24	HISAMATSU	30	